

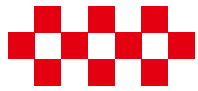
外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

# ハロー フレンズ

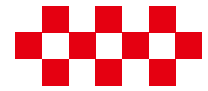


ふじみの国際交流センター  
Fujimino International Cultural Exchange Center

2021年 1月号 (年3回発行) 第155号



## 2021願う・コロナ消滅



レジ袋の持ち歩きとマスク使用が当たり前の生活が続いています。新年が明けて本当に「おめでとうございます」と言える年になることを心底願わずにられません。

＊「はいマスク、これが日本のエチケット」:

ふじみの国際交流センターは月曜から金曜の午前中毎日日本語教室を開いています。コロナ禍で仕事を無くした人や求職中のネパール・コンゴ・カメルーン・ウガンダ・フィリピン・ブルキナファソ・セネガル・イラン・ジンバブエ等からの人達が熱心に勉強しています。マスクを忘れてくる人がいると、買い置きしたマスクを「ジャパニーズエチケット」と言って渡しています。

＊「食を補うフードバンク」:

来所者の中には1日1食の生活をしている生活費に事欠く人が多くいます。10月からフードバンク埼玉との協働で、日本語を勉強した後や生活相談の後、お米やカレー・魚の缶詰・お菓子など必要な食材を無料で持って帰れるようになりました。真冬の衣装がない人には会員の皆様からいただいた衣装を渡しています。彼らの嬉しそうな顔を見るとほっとします。

＊「アマビエと神と仏に祈願する」:

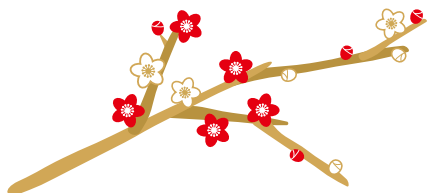
誰も一人もコロナに罹らないようにアマビエシールを買って小さく切ってスタッフ皆で分けました。また地球上から1日も早くコロナが消滅するように外国人の仲間と世界中の神様仏様に祈りました。私は仏陀に、イスラム教のネパール人はアッラーの神に、カトリックを信じる人はキリストに。「どの神様がコロナに強いかな」辛い事をこんな風楽しく話せるのも多国籍の人が生活しているお陰です。

＊「新年は学習室をリニューアル」:

学習者が増え、3密を防ぐために学習室を新設しました。自前の拠点を建てたいと24年前からコツコツ貯めておいた貯金と三菱財団の助成金で修繕した部屋です。机や椅子は埼玉労福協からいただきました。良い環境で学習できることを皆さんが喜んで下さると嬉しいです。



11月8日総会が無事終了しました。



## 〈新しい学習室ができました〉

12月にFICECの貯金と三菱財団からの助成金で新しい学習室を作りました。壁紙を張り替え、天井の灯りやトイレなども新しくして素敵な学習室ができました。机や椅子、スチールキャビネットなどを埼玉労福協からいただき、理事とスタッフで引っ越しを済ませました。それぞれの机には手作りの感染防止シートも取り付けました。月曜から金曜日の日本語教室と土曜日の子どもクラブで使用します。これから多くの学習者が訪れることを願ってやみません。



Fujimino International Cultural Exchange Center  
**日本語教室**  
にほんご きょうしつ  
時間(じかん):月曜日(げつようび)～金曜日(きんようび)  
午前(にせふ)10:00-12:00

- 一層(いっそう)に勉強(べんきょう)しましょう!
- お金(かね)は、いりません
- 予約(よやく)は、いりません
- だれでも勉強(べんきょう)できます

**Japanese Class** Monday-Friday a.m.10:00-12:00  
**Classe de Japonais** Lundi-Vendredi a.m.10:00-12:00

- Étude ensemble!
- Cours gratuits
- Aucune réservation n'est nécessaire
- Tout le monde peut participer

FICEC  
**国際子どもクラブ**  
International Children's Club  
Câu lạc bộ trẻ em ngoại quốc  
国際児童倶楽部

毎週土曜日 9:00～12:00  
Every Saturday

外国人(がいこくじん)の  
学校(がっこう)の勉強(べんきょう)や  
日本語(にほんご)学習(がくしゅう)が必要な  
小学生(小)が対象(たいしょう)です

毎週(まいしゅう)土曜日(どようび) 9:00～12:00  
外国人(がいこくじん)の  
学校(がっこう)の勉強(べんきょう)や  
日本語(にほんご)学習(がくしゅう)が必要な  
小学生(小)が対象(たいしょう)です

問題を抱えた外国人(がいこくじん)のみんな  
ふじみの国際交流センター

外国人(がいこくじん)の生活(せいかつ)をサポートする  
日本語(にほんご)教室(きょうしつ)・日本語(にほんご)学習(がくしゅう)講座(こうざ)  
外国人(がいこくじん)の生活(せいかつ)をサポートする  
日本語(にほんご)教室(きょうしつ)・日本語(にほんご)学習(がくしゅう)講座(こうざ)

日本語(にほんご)の円滑(えんかつ)な社会(しゃかい)生活(せいかつ)

学習室と事務局の告知ポスター  
を作りました。



## 〈フードバンク開設しました〉



10月からフードバンク埼玉との協働でフードバンクコーナーを設置しました。缶詰やパスタ、お米、お菓子など、日本語学習や生活相談に來所した外国人に手渡しており好評です。

またコートやセーターなど冬物衣料も豊富に用意してあり、冬の備えが少ない人に持ち帰ってもらうことが可能です。

奥には生活相談のコーナーもあり、落ち着いた場所でゆっくり相談を受けることもできます。



## インターンシップ活動報告

FICECは高校生や大学生の授業の一環としてインターンシップ生を受け入れ、社会体験や研修に協力しています。今回は、「グローバル人材育成センター埼玉」からの依頼で、留学経験のある日本人大学生及

び外国人留学生を対象としたインターンシップの受け入れを行いました。広報、生活相談、日本語支援という3つのテーマに分け、インターンシップを行いました。活動内容は以下の通りです。

テーマ	活動内容	学校名
多文化に向けた広報	現在の広報活動(HP、Instagram、Facebook、多言語情報誌)の問題点を見つけ、改善のための提案や、新規企画を提案し、実践する。	大東文化大学大学院(留学生)、立教大学、早稲田大学大学院 (計3名)
在日外国人の実情と課題	在日外国人の現状を学ぶ。実際の事例をもとにしたケーススタディを行う。生活相談の勉強会に同席する。	獨協大学、立教大学、東洋大学、早稲田大学、津田塾大学 (計5名)
日本語支援とやさしい日本語の研修	「日本語の教え方」と「やさしい日本語」を学ぶ。日本語教室に参加する。「やさしい日本語」の文書作りを体験する。	中央大学、立正大学大学院、上智大学 (計3名)



←「多文化に向けた広報」グループ



↑「日本語支援とやさしい日本語の研修」グループ

←「在日外国人の実情と課題」グループ

### 学生からの感想「インターンシップを終えて」

- ・外国人が日本に住む上でどのような困難があるのかを知ることができた。これから、自分が出来ることは何かを考え行動に移していきたい。
- ・私が留学経験で感じた国際社会と、現在日本で起きている外国人に対する問題が大きく異なるものだった。言葉の壁により学校現場での学習が十分でない子どもの様子、その対応が十分に行われていない実態など改善すべき点が多いことに驚いた。
- ・外国人の私は、ここまで積極的に外国人を支援する非営利の貴団体に対してとてもありがたいと思いま

した。もっと多くの人に知ってもらうため、力になれることがあれば言ってください。(留学生)

- ・外国人が日本での生活に馴染むための第一歩となる日本語の習得の重要性や、それを手助けする難しさを改めて感じた。また、日本語を教えている時や、やさしい日本語に直している時は、外国人にとって理解しやすいか、たくさんの想像力が必要で「相手の立場で考える」ということを学べた。

- ・日本人、外国人のそれぞれの立場を変えて相手のことを思いやり考えることの大切さを学んだ。



### 副理事長就任挨拶

## FICECのためにできることを探しながら頑張ります

永田 信雄

永田信雄(66歳・久喜市在住)です。不勉強のために日本語しか話せない頼りにならない理事ですが、よろしくお願ひします。

ふじみの国際交流センターとの出会いは、20年以上前になります。労働組合とNPOが協働して地域を変えることを目的に「ネットワークSAITAMA21運動」という運動体の一員として訪問させて頂いた時でした。

外国人の生活相談、「多文化共生」の取り組みを行うFICECの活動に出会い、「こんな活動(組織)が埼玉県にあって良かった」と驚きました。そして、Ficecの活動を担う女性たちのパワー、迫力に感動したことを覚えています。

その後、FICECが「ネットワークSAITAMA21運動」

のパソコン寄贈に応募され、当選したときに「ネットワークSAITAMA21運動」の事務局であったことから、20年ぶりの「(石井理事長との)再会」となり、あらためてFICECの活動と向き合うことになりました。

2015年、外国人問題への見識もなく、英語も話せないにも関わらず理事に就任し、今年度より副理事長に就任しました。

経過はともかく、埼玉県内における外国人支援、外国人の居場所づくり、生活相談・生活支援の拠点としてFICECの存在・活動は不可欠です。そうした思いから、FICECのためにできることを探しながら、他のスタッフの皆さんと協力して頑張ります。よろしくお願ひ致します。



### 第2回

### フィリピンの手作りおやつ①

## ミキさんの キャッサバケーキ

#### ○材料:

- キャッサバ ……………1本(1kgで1,200~1,300円)
- ココナツミルク ……………200cc
- 砂糖 ……………4分の3カップ
- バター ……………100g
- ピーナツ ……………砕いたもの(あれば)

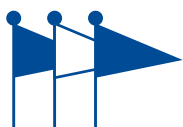
#### ○作り方:

- ①キャッサバの皮を剥いてすりおろす。まん中にある芯をとりのぞく。
- ②すり下ろしたものをガーゼなどで包んで、強くしぼる。汁は捨てる。しぼったものをほぐしておく。
- ③フライパンにココナツミルク4分の3カップを入れ、砂糖4分の3カップも加えて混ぜ火にかける。沸騰してきたらキャッサバを入れて30~45分ほどかき回す。焦げるので、その間絶対に目を離さない。
- ④途中でバター100gを入れる。残りのココナツミルク4分の1を足す。味を見て甘さを調節する。



- ⑤入れ物に入れて、バター、ピーナツを砕いたものをトッピングにする。

フィリピン人はみんな大好きなケーキです。外国に住んでいてフィリピンに里帰りするとき、帰宅途中で家族のおみやげに買ってかえり再会を喜びながら一緒に食べるようなイメージです。キャッサバはフィリピン食材店などで手に入ります。



## いつも応援しています

## 小諸悦夫

私が勤務先を定年でやめて、ボランティアをしぱらくして、区切りがついたところで、夜テレビを見てみると、『ふじみの国際交流センター』ルポルタージュの放送がありました。

初めて聞く名前ですが、していることが凄い。私はこのルポルタージュにくぎ付けになりました。国は労働力不足を外国人労働者、特に東南アジアからの人々で補おうとしていますが、それらの人々は慣れない日本での生活に苦勞しています。それを助けているのです。

日本人男性と結婚して子供までいるのに、離婚されて困っている外国人の女性。日本語の読み書きができない。色々な届出書の書き方が判らず困っている人。そういうことに親身になって相談に乗っているというのです。外国人の駆け込み寺を民間の個人がしているのです。これは凄いことです。早速小遣い

錢程の献金を申し出ました。

これが『ふじみの国際交流センター』との最初の関わりでした。直ぐ礼状が来ました。それと同時に、主催者の石井ナナエさんから『毎日が波乱万丈』なる20年の奮闘記が送られて来ました。それを読むと、本当に無償でこんな事が続けられていると感心するばかりです。

幸いに良いスタッフに恵まれて順調に仕事をされているといひます。埼玉県指定のNPO法人にもなりました。しかし、経済的な援助が十分とは言えません。もう少し税金をこういう事にも使ってほしいとも思うのです。

コロナウイルスが猛威を振っている現在、誰も大変なことだと思いますが、余裕のある人は『ふじみの国際交流センター』に少しでも援助をして頂けたら幸いだと思ひます。

## 見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ

## 石井ナナエ

○月○日

月曜から金曜の毎日、午前中は日本語教室を開いている。以前の中国やフィリピン、ベトナムの学習者はコロナが蔓延してからはピタリと来ていない。それに変わって観光ビザで日本に入国し難民申請中の祖国に戻れない事情を抱えたアフリカ系の外国人でビッシリ。しかし難民認定審査には数ヶ月から数年かかるので、その間は特定活動という在留資格をもらい日本に在留している。ジェスチャーやタブレットを頼りに事情を聞くと、在留期間は延長され在留資格はあるのだが仕事もお金もなく、食事も満足にとれていない人が多い。彼らは難民として認められる事よりも、日本で働き日本への在留を希望している人がほとんど。

コロナにより出入国がロックダウンしているため、2020年10月から特定活動ビザの人も日本語能力試験の4級(N4)に合格すると特定技能ビザにチャレンジ出来るようになった。彼らは窃盗や殺人の罪を犯したわけではなく、ただ日本で働きたい

めに来日した人たち。労働者不足を補うため2019年に法務省は4万人の特定技能者の入国を希望していたが実現したのは1621人だった。外国から新しい労働者を受け入れるだけでなく、日本で暮らし日本での仕事を希望している特定活動ビザの彼らに、犯罪者扱いするのではなく、日本語習得と就労支援の機会を与える事が大切と毎日考えている。

○月○日

JICAとNGO・NPOが連携し「国際協力情報交換会2020」がオンラインで開催された。ふじみの国際交流センターは在留外国人支援団体の代表として参加させていただいた。FICECを除くと登壇者の全てが海外の途上国支援をしている団体。国内の在留外国人も様々な問題を抱えていること、彼らを支える社会資源が乏しいこと、SDGsの目標に向けいろいろな団体の協働が必要なこと、世界の中の日本だから日本の中の世界を大切にしたいことを提言してきた。



## 株式会社グローバルハブ代表取締役 スザン ゾシさん

2004年に留学で日本に来ました。日本を選んだのはネパールで日本のイメージが良かったから。最初に入った日本語学校のクラスにはネパール人しかおらず、次に入った国際ビジネスの専門学校も生徒は皆外国人ばかりで、日本人と知り合いになれませんでした。言葉ができず自分でバイト先を見つけるのも大変でした。あの頃は日本語ができないと雇ってもらえませんでした。最初は仕分けのバイトから入り、言葉が分かるようになってからは居酒屋やラーメン屋で働きました。バイトや仕事を通じて日本人の友人ができました。最初は卒業したら国に帰るつもりでしたが、ネパール人の奥さんと出会い、飲食店も始めて日本に住むことにしました。その後外国人を支援する会社で働きはじめ、2018年に独立して新宿で会社を立ち上げました。

現在は千代田区に本社があり、今年から埼玉支社として上福岡で事業を始めました。ここから全ての指揮をとりながら南アジア中心にアジア食材小売店として「上福岡ハラルバザール」を経営しています。住所は川越ですが最寄り駅は上福岡なので間違えないで来てもらうためにつけました。私はヒンズー教徒でありこだわりはないですが、イスラム教の人はハラルの肉しか食べないので、ここに買いに来てくれます。他にもスパイスや豆など普通のスーパーよりとても安いです。近くに住んでいるアフリカ人や日本人のお客さんも来ます。食材を売るだけではなく南アジアの食文化を紹介したり、文化の交流の場になればうれしいです。

「株式会社グローバルハブ」のメインの業務はネパールのIT企業へのアウトソーシングで、他にも在日ネパール人のための携帯、インターネット販売や翻訳・通訳業務、また日本国内旅行のパッケージツアー等も作成しています。外国人の生活支援にもな



FICECのボランティアとしても活躍していただいています。

る職業紹介も行っています。日本の生活の中で外国人が必要としているものなら、なんでも探して提供します。人と付き合うのが好きでネパールの県人会の会長もしています。日本が長いのでその経験をいかして困っている人を助けたいと思っています。(ネパールから来る若い人たちに一言)最初は言葉の問題や人付き合いが大変かもしれないが、じきに慣れるので頑張ってほしい。大事なことは日本とネパールを比べないことです。私が来た頃は駅の表示も漢字だけだったが、今は英語表記もあり、英語ができる人も増えています。外国人が嫌いな日本人も減っていると思う。昔は、田舎の方に行くと宇宙人を見るような目で見られたが、最近は人間だと思ってもらえる。前は言葉ができなかったら絶対に仕事はなかったが、今は以前から職場にいる別の外国人が助けてくれるし、お客さんも慣れていて、言葉ができなくてもあまり気にされない。今来る若い人は苦勞が少なくていいなあと言うこともあります。(笑)



外観



ネパールの食材や衣服も取り扱っています



**石井ナナエ理事長が表彰されました。**

この度、令和2年度文化庁長官表彰者に選出されました。「永年にわたり、地域に暮らす外国人の居場所としての日本語教室を開催し活動するなど、日本語教育を通じた国際文化交流及び多文化共生社会の実現に多大な貢献をしている」との理由でいただきました。



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

≡ 毎月定額の募金です ≡  
**マンスリーサポーター募集中!!**

在住外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターになってください。

一人でも多く方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

**マンスリーサポートの流れ**

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004  
埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5

電話 049-256-4290  
または 049-269-6450  
FAX 049-256-4291

認定NPO法人 ふじみの国際交流センター  
マンスリーサポート係

- ②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。
- ③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。
- ④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

○スポットサポーター募集

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)  
または、現金書留でお願いいたします。



広告

**立麻小児科・内科**

担当医:立麻典子

- 予防接種: 月、火、木 PM 2:30~3:00 要予約
- 乳児健診: 金 PM 2:30~3:00 要予約

※お母様のお仕事の都合などで上記の時間帯にいらっしゃれない場合には、ご相談ください。

電話 **049-261-1182**

住所 〒356-0058 ふじみ野市大井中央4-11-14

	月	火	水	木	金	土
午前 9~12時			休診			
午後 3~7時			休診			休診

水曜日、土曜午後、日曜日、祝日は休診です。

○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

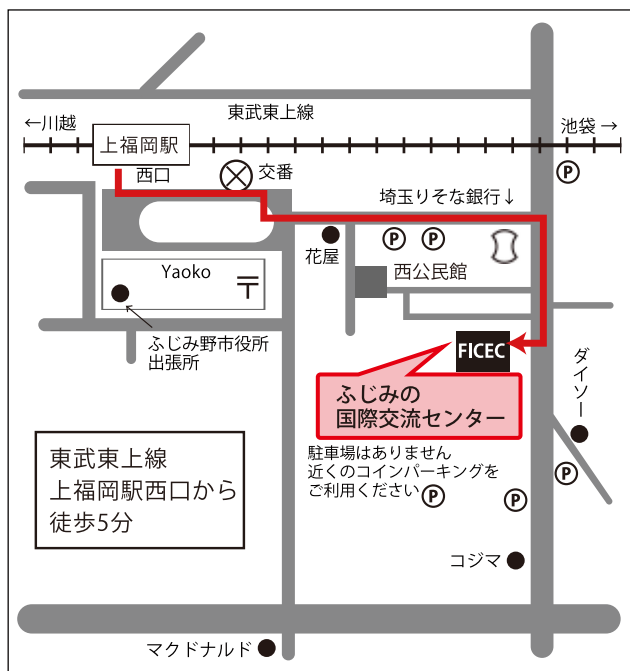
郵便振替口座: 00110-0-369511  
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00  
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291  
 生活相談専用電話 049-269-6450

**ご寄付をいただいた方々**  
 ご支援ありがとうございます

●2019年12月1日～2020年12月20日(敬称略)

〈団体〉丘亜蘭、キハク堂、田村工務店、高齢者総合ケアセンターマザーアース、立正佼成会一食運動、話書きサークル「集」

〈個人〉秋池敏子、秋本ノエミ、阿久津俊昭、穴沢エミリン、阿部幸枝、新井順子、新井節、新井良司、荒田光男、安銀柱、安亭亭、生村康之典、石山達也、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、岩田仁、牛込亜紀子、内部利明、江釣子孝一、尾浦邦彦、大澤さよ、大場弥太郎、小川愛子、小川仁也、尾崎功、大室昭浩、小田良子、岡本直久、小原知子、片倉ミン、加藤久美子、加藤陽一、金子左記子、狩野照乃、川井敏生、神田歩、神田順子、岸上友香、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、樟山直美、久野弓枝、熊谷洋興、栗島美千代、小池真理子、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、駒形一夫、近藤知代、蔡紹東、酒井有香、坂入智子、坂口久身江、佐藤義治、サプコタ、沢部涼子、ジェット、芝山喜巳子、島田敏郎、邵玲揚、江科、杉本佳久、高橋圭子、高橋真梨子、武田和子、橘賢、立麻肇子、近沢エルザ、チン・テイ・ヴァン、塚本秀樹、坪田幹男、寺村壁如、戸塚成子、富田恵子、豊枝洋子、中川令子、仲野谷美恵、中村禎作、榎府憲太、南部英司、西澤、野沢弘子、萩原教生、長谷川雅恵、長谷川正江、林田伸幸、半田栄子、深沼マリ、保坂佐紀恵、松尾和子、松尾恭子、松本かよ、三浦清子、三橋博之、村井美穂、村山光代、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉沢悦子、吉野高章

〈マンスリーサポーター〉石井幸夫、石井ナナエ、遠藤慧子、太田政男、小林久美、権田貴久子、末吉智子、清家泰子、中嶋恵津子、中田好江、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、藤井みどり、八重樫紀久枝

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+交通費
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)	1,000円/人、日	

**ボランティア活動に、ご参加ください**

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、生活相談・外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。